

特別支援教育，ユニバーサルデザイン

視認性を高めた教科書体を新開発

特別支援教育に関わる先生方や弱視の児童に調査を行い，文字の太さや形の適正化をはかり，読みやすさ，書き写しやすさを向上させました。なお，開発にあたっては，慶応義塾大学中野泰志教授にご協力いただきました。

従来
新書体

新しい算数
新しい算数

学習に集中できる落ち着いた色使いと，読み取りやすさの実現

先生の声

特に低学年では，星形の記号が書きにくいこともありますね。

改訂の核心!

シンプルな記号を採用し，ノートに書きやすいデザインにしました。

従来の教科書

下の ㉗ は，もとの 大きさの $\frac{1}{2}$ と いえますか。

もとの 大きさ

1 長方形の紙を 半分 に おって，もとの 大きさの $\frac{1}{2}$ を 作りましょう。

もとの 大きさ

2 ㉗，㉘ は，もとの 大きさの $\frac{1}{2}$ と いえますか。

① もとの 大きさ

② もとの 大きさ

新しい教科書

もとの 大きさの $\frac{1}{2}$ を いくつ あつめると，もとの 大きさ に なりますか。

1 長方形の紙を 半分 に おって，もとの 大きさ を 作りましょう。

もとの 大きさ

2 下の ㉗，㉘ は，もとの 大きさの $\frac{1}{2}$ と いえますか。

もとの 大きさ

もとの 大きさ

㉗

㉘

重要用語の とらえやすさへの配慮

ひと目で分かるように，太文字の使用に加え，波線を付けました。

データの中で，最も多く出てくる値を**最頻値**，または**モード**といいます。

180 ページの 1 組の とんだ回数 を表すドットプロットでは，最も多く出てくる値は 62 なので，1 組の とんだ回数の最頻値は 62 回です。

62 回 とんだ日が 3 日でいちばん多い。最頻値は 3 日ではなく 62 回だよ。

ページ番号の強調

他の数字と区別し，目立たせて認識しやすくしました。また，単元のまとまりがとらえやすいように，単元ごとに色を変えました。

まとめ

平行四辺形の面積は，形の特ちょうに注目して，面積の求め方がわかっている長方形に形を変えれば求めることができる。

あみ

重要項目を枠囲み

本時の問題や学習のまとめを枠で囲み，重要項目に着目しやすくしました。

読みやすさの重視

すべての文章を読みやすい位置で改行しました。

カラーバリアフリーへの配慮

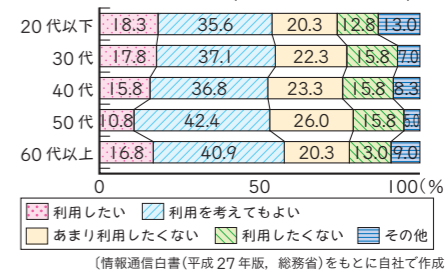
「色覚問題研究グループぱすてる」様に，全ページに渡り色覚特性に関わるチェックをして頂きました。

カラーバリアフリーの観点から，図やグラフには色のみの区別は避け，形や模様でもきちんと区別できるように配慮しました。

3 数直線で，偶数と奇数は，どのようにならんでいますか。



データ4 年代別の自動運転自動車を利用したいかどうかの調査(各年代 400 人が回答)



他教科関連，カリキュラム・マネジメント

他教科との関連を特に意図した箇所は㊦マークで明示

▼4年上 p.13

英語

日本語では，大きい数は 4 けたごとに区切ると読みやすくなりますが，身のまわりには，3 けたごとに「，」で区切られている数が多くあります。それは，英語などでは，3 けたごとに数の位の読み方がついているためです。

英語	日本語
million	百万
thousand	千
hundred	百
ten	十
one	一

都道府県別 人口 (人) 平成 29 年

都道府県	人口 (人)
北海道	5,370,807
青森県	1,323,861
岩手県	1,277,271
宮城県	2,319,438
秋田県	1,029,196
山形県	1,118,468
福島県	1,938,559

(住民基本台帳(平成 29 年 1 月 1 日，総務省))

英語に触れる機会となる箇所では，関連を明示しました。外国の言語や文化への理解を促進します。

理科の 4 年で天気と気温を学習する際に活用する折れ線グラフの単元には関連を明示しました。

▼4年上 p.21

折れ線グラフと表

2 グラフや表を使って調べよう

理科

短時間学習での活用への配慮

単元末「たしかめよう」には，15 分の使用を目安に区切りのマークを付けました。単元末の 1 コマ(45 分)は 3 分割し，短時間学習で扱うことも可能です。

▼5年上 p.14~15

たしかめよう

15分

15分

45分

例: 5 時間扱いの単元の場合

使用イメージ例①

45分×5コマ

単元末も通常の 1 単位時間で扱う場合

短時間学習 (15分)	読書 など	読書 など	読書 など	読書 など	読書 など
1 コマ (45分)	本文	本文	本文	本文	単元末 (A)(B)(C)

使用イメージ例②

15分×3コマ
45分×4コマ

単元末を 15 分毎に 3 分割し，短時間学習で使用する場合

短時間学習 (15分)	読書 など	(A)	読書 など	(B)	(C)
1 コマ (45分)	本文	本文	本文	本文	新単元

たしかめよう

15分

15分

15分